

日 薬 情 発 第 7 6 号
令 和 5 年 9 月 1 3 日

都道府県薬剤師会担当役員殿

日 本 薬 剤 師 会
担 当 副 会 長 渡 邊 大 記

「薬局におけるDXに対する薬局薬剤師の意識に関する調査研究」へのご協力をお願い

平素より、本会会務に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、医療DX令和ビジョン2030、経済財政運営と改革の基本方針2022（骨太の方針）などにおいて、持続可能な社会保障制度の構築のために「医療・介護分野でのDX（デジタルトランスフォーメーション）を含む技術革新を通じたサービスの効率化・質の向上を図る」こととされており、医療・介護現場にもDXの波が押し寄せておりますが、標記につきまして一般社団法人日本医療薬学会 医療薬学学術第2小委員会 佐藤委員長より、別添のとおりアンケート調査への回答をお願いしたい旨の連絡がありましたのでお知らせいたします。

会務ご多用のところ恐縮ながら、貴会会員にご周知下さるようお願い申し上げます。

令和5年9月吉日

公益社団法人日本薬剤師会 御中

(2023年度 医療薬学学術委員会 調査研究課題)
「薬局におけるDXに対する薬局薬剤師の意識に関する調査研究」
へのご協力をお願い

東京大学大学院情報学環・准教授
東京大学大学院薬学系研究科・特任准教授
2023年度医療薬学学術第2小委員会・委員長
佐藤 宏樹

謹啓 小夏の候、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

政府・与党の医療DX令和ビジョン2030、経済財政運営と改革の基本方針2022（骨太の方針）などにおいて、持続可能な社会保障制度の構築のために「医療・介護分野でのDX（デジタルトランスフォーメーション）を含む技術革新を通じたサービスの効率化・質の向上を図る」こととされており、医療・介護現場にもDXの波が押し寄せています。

そのような中、2023年度医療薬学学術第2小委員会（委員長・佐藤宏樹）では、「薬局におけるDXに対する薬局薬剤師の意識に関する調査研究」を実施させていただくこととなりました。具体的には、全国の薬局の薬剤師を対象としたアンケート調査を実施することとなり、貴会に加盟されている薬局の皆様にご依頼状を配布いただきたく、お願いする次第です。

大変お忙しいなか誠に恐縮ですが、本研究の趣旨をご理解いただき、ぜひとも本調査へのご協力をお願い申し上げます。

なお、本調査は、東京大学大学院薬学系研究科・薬学部「人を対象とする研究倫理審査委員会」の審査・承認、部局長の実施許可を得て実施いたします（受付番号：5-5）。調査についてご不明な点等がございましたら、下記の連絡先にお問い合わせください。

謹白

【お問い合わせ先】

東京大学大学院情報学環／大学院薬学系研究科

准教授 佐藤 宏樹

Email: satoh@mol.f.u-tokyo.ac.jp

令和5年9月吉日

薬局の皆様

(2023年度 医療薬学学術委員会 調査研究課題)
「薬局におけるDXに対する薬局薬剤師の意識に関する調査研究」
へのご協力をお願い

東京大学大学院情報学環・准教授
東京大学大学院薬学系研究科・特任准教授
2023年度医療薬学学術第2小委員会・委員長
佐藤 宏樹

謹啓 小夏の候、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

政府・与党の医療DX令和ビジョン2030、経済財政運営と改革の基本方針2022（骨太の方針）などにおいて、持続可能な社会保障制度の構築のために「医療・介護分野でのDX（デジタルトランスフォーメーション）を含む技術革新を通じたサービスの効率化・質の向上を図る」こととされており、医療・介護現場にもDXの波が押し寄せています。

そのような中、2023年度医療薬学学術第2小委員会（委員長・佐藤宏樹）では、「薬局におけるDXに対する薬局薬剤師の意識に関する調査研究」を実施させていただくこととなりました。

本調査では、薬剤師個人のご意見をお伺いいたします。本依頼文をお受け取りになられた薬局開設者、管理薬剤師、薬局長などだけでなく、薬局内の他の薬剤師の皆様にもお答えいただきたく存じますので、ご案内いただけますと幸甚です。

具体的には、下記のURLよりアンケートサイトにアクセスし、オンラインにてご回答いただきたくお願いいたします。

もしくはQRコードを読み取ることでもアクセスできます。

【URL】 <https://forms.gle/36w18QDNAbHLXWXa8>



ご回答期限は、

令和5年（2023年）10月31日（火）

とさせていただきます。

（続く）

大変お忙しい中誠に恐縮ですが、本研究の趣旨をご理解いただき、ぜひとも本調査へのご協力をお願い申し上げます。

なお、本調査は、東京大学大学院薬学系研究科・薬学部「人を対象とする研究倫理審査委員会」の審査・承認、部局長の実施許可を得て実施いたします（受付番号：5-5）。調査についてご不明な点等がございましたら、下記の連絡先にお問い合わせください。

謹白

【お問い合わせ先】（研究責任者）

東京大学大学院情報学環／大学院薬学系研究科

准教授 佐藤 宏樹

Email: satoh@mol.f.u-tokyo.ac.jp

【アンケートの設問の一覧】

<回答者の基本情報>

- 年代
- 性別
- 薬局での薬剤師業務の経験年数
- 勤務先の薬局のグループ規模
- 薬局での立場・役職
- 現在の勤務形態
- 勤務先の薬局の郵便番号
- 勤務先の薬局の調剤基本料
- 勤務先の薬局で1日に応需する処方箋の平均枚数
- 勤務先の薬局で応需する処方箋の主な診療科

<デジタル技術や医療DXに対する意識>

- 普段の生活でのサービスや機器の利用状況
- DX推進への賛否
- DXによる社会の変化の方向性
- 医療・介護分野のDXへの賛否
- 医療・介護分野のDXによる医療・介護の変化の方向性

<薬局・薬剤師の業務に関わる各種DXの状況>

- 薬局での機器・システムの利用状況
- 薬局での機器・システムの利用度
- 薬局での機器・システムの役立ち度

<薬局におけるDXに対する意見>

- 薬局におけるDXに対する期待
- 薬局におけるDXに対する不安
- 薬局におけるDXに対する情報収集や研鑽
- 薬局におけるDXに対する支援